

## 鈴木重子 プロフィール

Shigeko Suzuki



静岡県浜松市に生まれ。幼い頃から、さまざまなジャンルの音楽に触れて育つ。

東京大学法学部在学中にジャズと出会い、ボサノヴァ、ジャズヴォーカルを本格的に習いはじめる。

司法試験に挑戦する一方、ジャズクラブでの活動が続けるうちに、「このまま歌い続けたい・・・」という思いが芽生え、ヴォーカリストの道を選ぶ。

95年、アルバム『プルミエール』でCDデビューすると同時に、日本人ヴォーカリストとしては初めて、ニューヨークの名門「ブルノート」でライブを行い、話題を集める。

以後、1年に約1枚のペースでアルバムをリリース。

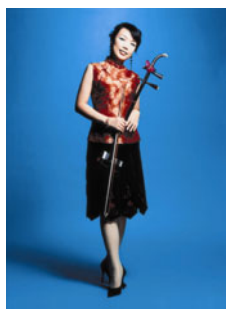
2000年9月に発表したアルバム『ジャスト・ビサイド・ユー』が、日本ゴールドディスク大賞・部門賞を獲得。聞く人の心をやさしく、あたたかく包み込む彼女の歌声は、幅広い層の人々に支持されるまでになる。

愛・地球博パートナーシップ事業である“HAND IN HAND”のテーマソング“地球（ほし）にかえろう”を作詞、作曲し、全国各地でこの歌を子どもたちと歌っている。

現在は音楽活動を中心に、映画、TV、CM出演、エッセイ執筆など、多方面で活躍中。

## ウェイウェイ・ウー プロフィール

WeiWei Wu



上海出身、文革後の第一期生として上海音楽学院附属小学校に入学。上海戯曲学校音楽科で、バイオリンと二胡首席卒業。1991年に来日。二胡の可能性を探る為ジャズ・ポップス・フュージョン等さまざまなジャンルの挑戦を続ける。海外公演（ニューヨーク、シドニー、香港）やライブ、コンサートでのセッション、そしてレコーディング、ゲストとして、数多くのアーティストとの親交を暖めている。2002年ワーナーミュージックジャパンと契約、メジャーデビューアルバム「Memories Of The Future」を発売。スマッシュヒットを記録し、卓越したテクニックと表現力豊かな奏法に高い評価を得る。NHKの

主題歌、サントリー烏龍茶の CM 演奏、テレビ朝日、「題名のない音楽界会」、TBS「ニュース 23」、2003 年末には、「紅白歌合戦」へ出演を果たすなど、数多くのメディアへ出演。また、西武球場での開幕式での国家演奏や、人気シンガーのライブゲストなどにも参加。ジャズスポット「ブルーノート」ツアー、「銀座 SwingCity」、「六本木 STB139」などでのライブ活動なども積極的に行い、各方面より注目を集める。2003 年 7 月には渡辺香津美、中西俊博、coba、など豪華アーティストの参加で、セカンドアルバム「上海レッド」を発売。

2004 年 2 月、坂本龍一のアルバムプロモーションライブに参加、「ミュージックステーション」、「ヘイヘイヘイ」等、各局の TV に出演する。2004 年、妹であるシンガー amin との共作「この愛を～お姉さんへ」が NHK「みんなのうた」6,7 月の放送曲に選ばれる。同年 10 月、サードアルバム「プレイズ・バカラック」を発売。数々の名曲を生み出したバカラックの曲を二胡で演奏する等、絶えず注目を集める二胡奏者となる。

## ミュージア プロフィール

### MISIA



1920 年代パリに花開いたサロン文化の女神“Misia”。ルノワールによって描かれ、ココ・シャネルの親密な友人でもあった女神の愛称を名乗る彼女は、カタロニア人の舞踏家の母とポルトガル人の父との間にポルトガル北東部の港町ポルトで生まれました。クラシック・バレエを学び、プロとして独立、ミュージック・ホールで過ごした時期を経て、バルセロナやパリをはじめヨーロッパ中を旅して、スペインの音楽やシャンソン、タンゴなどに接し、オペラの勉強をしながら、やがて母国の至宝ともいえる“ファド”に回帰しました。「心の底から出て来る感情を、身体全体で歌うものが“ファド”なのです。」と語る彼女。’98 にリリースされたエラーと移籍第 1 弾アルバム『リスボン・センチメンタル』はポルトガル、フランスをはじめヨーロッパで大ヒットし、アルバム収録曲「見えなかった流れ星」（原題‘Nenhuma Estrela Caiu’）の作詞者ジョセ・サラマゴは昨年’98 のノーベル文学賞を受賞しました。また同年春に行われた「リスボン万博’98」でも何度かステージに立ち、なかでもブラジルの大歌手マリア・ベターニャとの共演では多くの拍手喝采を得ました。

予定されているニュー・アルバム“Paixaes Diagonais”（直訳では‘平和の対角線’）では、クラシック界から著名なピアニスト、マリア・ジョアオ＝ピリスをはじめ、多くのミュージシャンがゲスト参加しています。